

総合防災訓練のおもな流れ

- 10:00 熊本県天草・芦北地方を震源とするマグニチュード7.3の大きな地震が発生。気象庁は、「緊急地震速報（警報）」を発表
- 10:03 鹿児島県西部に「津波警報」（予想される津波の高さは3m）を発表
- 10:03~【浦底・鷹巣・獅子島地区】避難広報訓練
 【浦底地区】
 消防団・自主防災組織による住民避難訓練、在宅要配慮者の避難支援
 【鷹巣地区】
 住民、鷹巣小学校・中学校避難訓練
 【獅子島地区】
 住民、獅子島小・中学校避難訓練
- 10:05~【浦底地区】
 航空自衛隊第5航空団所属航空機「T-4」、海上自衛隊鹿屋基地所属救難ヘリ「UH-60J」による被害状況調査
- 10:08~ 住民による初期消火訓練、阿久根地区消防組合、長島町消防団による大規模火災消火訓練
- 10:15~ 海洋環境整備船「海煌」による航路啓開訓練、県警察機動隊潜水班・海上保安庁による海上遭難者救助訓練
- 10:00~【鷹巣地区】
 役場水道課による水道復旧訓練、県保健所・役場保健衛生課による保健衛生対策訓練、長島町消防団による堤防決壊箇所応急復旧訓練、炊き出し訓練、検視・身元確認訓練、その他訓練展示
- 10:35~ J A F による道路啓開訓練、陸上自衛隊第8施設大隊による応急橋りょう構築訓練、県警察ヘリによる被災ビル残留者の救助訓練
- 11:35~ 合同災害対策本部訓練（県・町・陸上自衛隊・県警・九州地方整備局・DMAT・東町漁協・海上保安庁・防災航空センター・消防による合同会議）、獅子島孤立対策訓練
- 11:55~ 県警・阿久根地区消防組合・薩摩川内市消防局・陸上自衛隊による被害情報収集、警察犬・救助犬による被災者捜索訓練
- 12:08~ 県警、消防、自衛隊救助部隊、県 DMAT による合同救助訓練
- 12:15~ 県 DMAT、日赤、医師会などの医療機関及び消防救急隊による合同救護訓練
- 12:25~ 訓練終了
- 12:30~ 閉会式



↑各関係機関から報告を受ける町長と伊藤知事（浦底地区）



↑車中に閉じ込められた被災者を救出する分遣所職員（鷹巣地区）



↑高台へ避難する町民（獅子島地区）

助訓練、炊き出しなどを行いました。

訓練終了後の閉会式では、県災害対策本部長の伊藤祐一郎鹿児島県知事が「住民の方々には今回の訓練を通じて、災害に対する防災意識を高めていただきたい。これから本格的な梅雨や台風の時季を迎えるが、本日の訓練を踏まえ、自助共助公助による災害に強い地域社会を目指し、各種防災対策の充実強化に尽力してほしい」と話されました。



↑被災家屋からの被災者救助訓練をする自衛隊（鷹巣地区）



↑海上航路啓開訓練をする海洋環境整備船「海煌」（浦底地区）



↑鷹巣運動場に着陸した県警察ヘリ「はやと」（鷹巣地区）



↑要配慮者の避難を支援する消防団（浦底地区）

午前10時3分の津波警報の発表後、訓練実施場所となった浦底地区、鷹巣地区、獅子島地区では、一斉に高台への住民避難訓練を開始しました。浦底地区では、消火訓練や海上遭難者救助訓練、鷹巣地区の役場駐車場で、ライフライン復旧訓練や水防工法訓練などが実施されました。このほか、獅子島では孤立化対策訓練を行いました。その後、町体育館前では、救助犬による捜索訓練や自衛隊・消防・県警機動隊による救

5月21日（木）、鹿児島県総合防災訓練が長島町で初めて開催されました。

県総合防災訓練は、災害応急対策が迅速かつ適切に行われるよう防災体制の確立を図り、県民の防災意識を高めるために毎年行われています。

この日は、鹿児島県、鹿児島県警、自衛隊、消防、海上保安庁、医療関係機関、消防団や訓練地域の住民など75機関・団体、約3000人が参加しました。

今回の訓練は、午前10時、熊本県天草・芦北地方を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、鹿児島県西部に「津波警報」が発表、さらに午前11時には薩摩地方に「大雨・洪水警報」が発表されるという想定で実施されました。

鹿児島県総合防災訓練